

大丈夫ですか 屋根の雪

～ 雪下ろしは慎重に ～

平成28年12月から平成29年4月までの雪害による人身事故件数は102件、5人の方が死亡し、97人の方が怪我をされています。大館警察署管内では、1月に入り、高齢者が屋根などから落下する2件の重傷事故が発生しています。

除雪積雪が多くなるこの時期、屋根の雪下ろし作業が増え、作業中に屋根から滑り落ちるなど雪による事故が多くなります。次のことに注意し事故に遭わないようにしましょう。

【屋根の雪下ろし】

- 作業は1人で行わず、複数で行いましょう。
- 必ず命綱を付け、ヘルメットを着用し、滑りにくい履き物で作業を行いましょう。
- 屋根の登り降りは、ハシゴの横滑りや転倒のないように、家族等に押さえてもらうか、ロープ等でハシゴを固定して行いましょう。
- 屋根の登り降り時にはスコップ等の除雪用具は手に持たず、背負ったり、登り降りする前にロープを使うなどして上げ下げしましょう。
- 暖気時には、屋根が滑るので屋根に登っての雪下ろしはやめましょう。
- 屋根の雪下ろしと地上の除雪等を同じ場所で同時に作業するのは危険ですのでやめましょう。
- 屋根下の通行人（特にお年寄りや子ども）に十分注意しながら作業しましょう。

【除雪機の使用】

- 機械に巻き込まれやすい服装での作業はやめましょう。
- ローター部及びシューター部に詰まった雪は、必ずエンジンの停止を確認してから取り除きましょう。
- 周囲の人に注意しながら作業をしましょう。

【その他】

- 軒先の下での作業や通行時には、雪や「つらら」の落下に注意しましょう。
- 避難口や避難通路は、普段から除雪しておきましょう。
- 除雪した雪は道路に出さず、指定された場所に捨てましょう。
- 除排雪後は屋根の煙突やプロパンガスのホースが外れていないかよく点検しましょう。



